

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06205
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	身の回りの事例で学ぶ応用情報学入門					
	学問分野	番号	35	名称	自然科学系の情報	
3. 担当教員	佐々木 宣介 地域創生学部 情報学科 准教授 陳 訓泉 地域創生学部 情報学科 講師					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 7 月 25 日 (土) ~ 令和 8 年 7 月 25 日 (土)					
開講時間	9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 ( 90 分×2 回 )					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	50 人					
6. 科目内容・授業計画	<p>① 「ゲームをプレイする AI (人工知能) のこれまでとこれから」            【担当：佐々木 宣介】(9:00~10:30)            今、社会の中で AI (人工知能) が広く活用されるようになってきました。AI とはどのような技術で、どのように発展してきたのでしょうか？            将棋や囲碁のような思考型ゲームは、AI の研究テーマとして長年研究されてきました。AI で使われるさまざまな手法のテスト対象として、ゲームをプレイするプログラムはちょうど良い課題でもあったのです。現在では、将棋や囲碁をプレイするコンピュータプログラム (ゲーム AI) は非常に強くなり、人間の最強プレイヤーを超えるレベルとなっています。さらに、ゲーム AI に関する研究は対象が様々なゲームに広がり、また、プレイヤーの上達を助けるためのプログラム、問題を自動的に作成するプログラムなど、様々な用途で研究が行われています。この講座では、最初に AI の概要を紹介し、その後、将棋や囲碁などの思考型ゲームをプレイする AI を中心に、その動作の仕組みや最近の研究の様子などをわかりやすく紹介していきます。</p> <p>② 「AI 君はどうやって「考える」のか? — AI の頭の中をのぞいてみよう —」            【担当：陳 訓泉】(10:40~12:10)            近年、人工知能 (AI) は、画像認識、音声認識、文章生成など、私たちの身近な場面で急速に使われています。一方で、AI がまるで人間のように「考えている」ように見えるため、「AI は本当に思考しているのか」「その中身では何が起きているのか」という疑問を持つ人も少なくありません。            本講座では、AI モデルの内部で行われている処理に注目し、AI がどのようにデータから学び、判断や生成を行っているのかを説明します。機械学習やディープラーニングといった基本的な考え方を具体例を用いて紹介し、AI が「認識する」「予測する」「創り出す」仕組みを理解することを目指します。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (            人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日：6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など  特になし					
開設大学への交通手段	<a href="https://www.enica.jp/">https://www.enica.jp/</a> 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。